

## 第22回 西東京糖尿病心理と医療研究会のご案内

先生方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度下記概要にて、第22回西東京糖尿病心理と医療研究会を開催させて頂く運びとなりました。本会は、日常臨床において重要な糖尿病をもつひとりひとりと私たちとの関係のありかたを学んでいく領域に関する研究・啓発を目的とした会で、医師及び糖尿病治療に関わる全ての医療従事者を対象に開催いたしております。つきましては、何かとご多忙中のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえご臨席賜りますようお願い申し上げます。

記

日時：平成30年11月17日(土) 15:30～18:50

会場：国立市商業協同組合 さくらホール

国立市東 1-4-6 国立商協ビル 2階 Tel.042-572-1730

参加費：500円 定員：70名

プログラム

### 開会の辞【15:30～15:35】

イムス三芳総合病院 内分泌・代謝センター長 貴田岡 正史先生

総合司会

朝比奈クリニック 院長 朝比奈 崇介先生

国立がん研究センター中央病院 総合内科・歯科・がん救急科 科長 大橋 健先生

### 第一部：ワークショップ【15:35～17:35】

#### 「体験！糖尿病医療学的事例検討」

ファシリテーター：天理よろづ相談所病院 内分泌内科 北谷 真子先生

#### 「網膜症が進行し、自宅受け入れ困難になった

#### 患者とのかかわり」

症例提示：武蔵村山病院 認定看護師 小柳 貴子先生

休憩 10分【17:35～17:45】

### 第二部：特別講演【17:45～18:45】

#### 「糖尿病者のこころを見立て、支える」

奈良大学臨床心理クリニック 臨床心理士 森崎 志麻先生

### 閉会の辞【18:45～18:50】

高村内科クリニック 植木 彬夫先生

\* 日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 <第2群> 1単位(申請中)

\* 西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 5単位(申請中)

共催：西東京糖尿病心理と医療研究会 ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

\*当日は軽食をご用意しております

## 「糖尿病医療学的事例検討」

私達の施設では、深いレベルで糖尿病患者さんを理解し、患者さんの準備状態に合わせた支援を模索する事を目的として事例検討を行っています。これを通じて患者さんと私達の関係の在り方を学ぶという、「糖尿病医療学」の学びを深めています。今回は、患者さんの言動のみに目を向けるのではなく、「患者さんと医療者の間にあるもの」をも見つめながら、自分達が患者さんをどう考えるのか、今後どのように支援したいのか、を中心に議論を深める「糖尿病医療学的事例検討」を皆さんと体験したいと思います。

北谷 真子(きたたに まさこ)

石川県生まれ。高校(浪人?)までは名古屋で育ち、青森県の弘前大学に入学。卒業後は金沢大学に入局、大学院進学。石川県内の病院と大学病院とで研修をつむ。次第に糖尿病のチーム医療、糖尿病患者の心理的アプローチの必要性、重要性を実感し、石井均先生の教えをもとに病院内外で勉強を重ねた。2009年から天理よろづ相談所病院内分泌内科勤務。石井均先生、皆藤章先生のもとで研鑽をつみながら、病棟での事例検討(症例心理カンファレンス)の開催や、県外での事例検討のコーディネートなど、事例検討を通じて糖尿病医療学の構築を目指す事を目標としている。日本糖尿病学会専門医、日本内科学会認定内科医。医学博士。

## 「糖尿病患者のこころを見立て、支える」

糖尿病の治療においては、患者さんが主体的に療養行動に向き合うことが求められますが、療養行動を引き受けること、そして「病者としての自分」を引き受けることは時に非常に難しいことであり、またその難しさは、個々の患者さんのそれまで生きてこられた歴史や現在生きている在り様によって異なると思われます。なぜ療養行動に向かえないのか、なぜ糖尿病を引き受けられないのか、という問題に対して、①療養指導等の医療からのアプローチと同時に、②個々の患者さんを「糖尿病を抱えた一人の人間(糖尿病患者)」として、そのこころを見立て、人間理解を深めるという二つのアプローチが大事なのではないかと考えます。この二つのアプローチはどうすれば両立できるのか、皆さんと一緒に考えを深められたらと思います。

森崎 志麻(もりさき しま)

香川県生まれ。京都大学総合人間学部卒業後、教育学部に3年次編入学。京都大学大学院教育学研究科博士課程修了。同研究科助教を経て、現在は奈良大学臨床心理クリニック相談員、奈良県立医科大学糖尿病学講座非常勤講師、京都大学総合人間学部学生相談室相談員、まつしま診療所(心療内科・精神科)心理カウンセラーとして勤務。臨床心理士。

2007年より、皆藤章先生が中心となって活動されていた京都大学糖尿病心理臨床研究会に参加し、天理よろづ相談所病院、京都府立医科大学附属病院、沖縄ハートライフクリニックの医療者の方々と連携して、糖尿病患者とその家族の語りを通して、病いの体験をどのように理解し、支えていくことができるか、研究と実践を重ねてきました。研究会活動の中で石井均先生の指導を受け、2014年より、奈良県立医科大学糖尿病学講座にて心理カンファレンスに継続的に参加しています。

# 第22回 西東京糖尿病心理と医療研究会 参加申込書

【 お申込み先 】

【 お問合せ先 】

FAX 番号. 042-400-5952

TEL 番号. 042-400-5951

申込み締切り: 2018年11月12日(月)

担当 : ノボ ノルディスク ファーマ(株) 梶原

御施設名

御所属

御氏名

御参加予定人数

名

※ 該当する職種  にチェックをお願い致します。

御職種  医師  看護師  薬剤師  栄養士  その他

連絡先 TEL 番号・FAX 又は E-Mail

\* 個人情報保護法に基づき、ご施設名・ご氏名などの個人情報は、本会への出欠の確認にのみ使用致します。

\* 尚、お申込み頂いた時点で参加受付完了と致します。

\* 先着70名様を超えてお申込み頂いた際には、弊社担当者より連絡致します。

## 会場 : さくらホール 周辺地図

